

令和5年度事業報告

令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染症の感染者が確認されてから、令和5年5月に第5類へと移行し、行動制限も解かれ、通常の社会が戻るかと思われた矢先、令和6年元日に能登半島地震が発生した。富山県薬剤師会では、1月2日から役員で情報収集・連絡会議等を開始し、1月4日には会員薬局の被害調査、1月8日から穴水地区、1月20日から金沢市額谷避難所で、被災者の支援活動を行った。県内の薬局では人的被害はなかったものの、断水、破損等の被害が確認され、隣県の石川県では、まだ、多くの方が避難生活を余儀なくされている。3月末で支援活動は終了したが、今後も災害対策整備の構築を行っていく必要があると考えている。

また、今年度は、昨年度からの継続で、富山県および富山県後期高齢者医療広域連合の委託事業である、高齢者のポリファーマシー対策事業を、地域を拡大し射水・魚津・砺波・小矢部・滑川市、立山町、舟橋村で取り組んだ。さらに、医薬品の適正使用推進として、国が主体となり、電子処方箋・マイナンバー保険証の活用が進められ、薬局のIT化・DX化に取り組む1年となった。

I 富山県の地域住民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る事業（公益事業）

1. 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

1) 薬学生の育成等に関する事業

・薬学生の育成に関する事業

実務実習生の受け入れ 58 薬局、80 人

・北陸地区調整機構等との調整

薬学生の実務実習を円滑に行うため、北陸地区調整機構、薬学教育協議会北陸支部、富山大学、北陸大学との連携を図った（計3回、延べ6名出席）。

3月2日、令和5年度富山大学薬学部薬局実習運営協議会に実習受入先薬剤師5名が出席した。

・認定実務実習指導薬剤師の養成に対する支援

5月4・5日第27回、5月13・14日第28回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（受講者12名、タスクフォース2名派遣）

3月30・31日認定実務実習指導薬剤師養成(新規・更新)申請者講習会を開催した（新規17名・更新3名）。

2) 薬剤業務体験学習事業（県委託事業）

・「薬剤師のお仕事」紹介リーフレットの作成・配布

・富山県薬事総合研究開発センターにおける製剤実習・分析実習

8月2日 中学生 25名参加

8月3日 高校生 22名参加

・薬局における調剤体験学習

7月26日 14 薬局 中学生 26名参加

7月27日 16 薬局 中学生 28名参加

・病院薬剤師の仕事体験学習

7月25日～8月9日（8回開催）8 公的病院 高校生 38名参加

3) 生涯教育学習

- ・生涯教育研修委員会が策定した年度計画に基づき、4・5・9・10・2・3月に6回開催し(7月は荒天のため中止)、728名参加した(薬局機能強化事業(県補助金) 補助金:500千円(補助率1/3))。

今年度から、会場は富山県薬剤師会会館のみとして、Zoom ウェビナー配信で自宅・職場等から研修会を視聴できるよう会員の利便性を考慮した開催方法とした。

また、富山県薬剤師研修協議会主催研修会として、8~12月に計6回、Zoom ウェビナー配信で開催し、859名が視聴参加した(日本薬剤師研修センター研修会開催支援 補助金:1,600千円(補助率10/10))。

また、青年薬剤師会は研修会と座談会を各1回企画し、実施した。

9月26日第19回研修会「若手薬剤師が知っておきたいクレーム対応講座」55名オンライン参加

3月12日第4回座談会「栄養士による業務紹介・グループに分かれて座談会」

- ・会報誌「富薬」を毎月発行した。また、ホームページを随時更新し、最新情報の周知に努めた。

4) 医薬品の製造販売、製造及び販売に関する医薬品医療機器等法対応への支援強化事業

- ・製薬薬剤師部会では、3月1日に優良施設見学研修会を5年ぶりに開催した。

見学先:日東メディック(株)、ダイト(株) 32名参加

5) 研究活動の推進事業

- ・9月17日・18日、和歌山市で第56回日本薬剤師会学術大会がハイブリッド方式で開催された。(口頭発表3題、ポスター発表2題)
- ・10月8日・9日、新潟市で第63回北陸信越薬剤師大会・第56回北陸信越薬剤師学術大会がハイブリッド方式で開催された。(シンポジスト1名、口頭発表9題)
- ・2月10日、第25回富山県薬学大会・富山県薬学会年会をハイブリッド方式で開催した。(口頭発表14題)

2. 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

1) 地域住民に対する相談・助言・普及事業

- ・「薬の消費者教室」への講師派遣(実施回数:18回、受講者:352名)

医薬品総合情報事業(県委託事業 委託料:1,000千円)

- ・令和5年度高齢者保健事業推進基盤整備事業(富山県後期高齢者医療広域連合委託事業 委託料:2,200千円)

後期高齢者は、加齢による生理機能の変化や複数疾患による多剤・重複服薬等に係る問題が生じやすい。また、近年要介護者の増加原因として骨折転倒・関節疾患、フレイルがあり、ポリファーマシーが1つの要因であることが知られている。これらのことから、関係団体等と連携を図り、医薬品の適正使用化に取り組むことを目的に事業を実施した。

①服薬通知事業

富山県後期高齢者医療広域連合(広域連合)がレセプトデータを基に県内の後期高齢者から、多剤・重複服用者を約7,000名抽出し、服薬内容について通知書を送付した。薬局では相談に来た高齢者に対応し、相談内容をグループフォームで集計した。

薬剤師 75 名から報告があり、相談件数は、94 件であった。

相談応需結果としては、薬局での相談を継続 21 件、患者がかかりつけ医に相談 11 件、薬剤師が処方医に情報提供 4 件、減薬となった 5 件であった。

②訪問服薬相談事業

魚津・射水・小矢部・滑川市、立山町、舟橋村において、服薬通知対象者から訪問相談が必要とされる方を抽出し、薬剤師と保健師（あるいはケアマネジャー）とが訪問服薬相談を実施し、必要に応じて、処方医等に服薬情報提供を行った。

訪問同意者 40 名に対して、訪問服薬相談を実施し、うち 4 件について、後日減薬を確認することができた。

③啓発事業

薬剤師が各地域で開催される出前講座で、ポリファーマシー対策についての講話を行うことで、高齢患者や家族等にポリファーマシー対策の有用性の周知に努めた。

25 回の出前講座で、受講者総数は 483 名、計 20 名の薬剤師が講師を務めた。

④ポリファーマシー対策検討委員会

3 月 7 日に広域連合等の保険者・富山県医師会・富山県・本会関係者が出席し、高齢者等の薬物療法に関する問題点を検討した。

- ・令和 5 年度ポリファーマシー対策に向けた多職種連携推進事業（富山県委託事業 委託料：1,708 千円）

薬剤師等の関係団体と連携を図り、対象市（モデル市）において国保前期高齢者個々の身体・生活習慣等の状況に応じた服薬指導や普及啓発を通じて、医薬品の適正使用及び医療費適正化に繋げることを目的に事業を実施した。

①訪問服薬相談事業

国保レセプトデータを基に、魚津・射水・砺波・小矢部市、上市・立山町において、複数の医療機関から、一定数以上の内服薬処方者や重複投薬者を対象に、抽出を行い、訪問同意を得られた対象者に薬剤師と市担当者（保健師・栄養士・ケアマネジャー等）が訪問服薬相談を実施し、必要に応じて、処方医等に服薬情報提供を行った。

訪問同意者 8 名に対して、訪問服薬相談を実施し、相談応需及び減薬提案等を行った。

②啓発事業

薬剤師が出前講座で、ポリファーマシー対策についての講話を行うことで、高齢患者や家族等にポリファーマシー対策の有用性を周知に努めた。また、広報用にパンフレットを作成した。

魚津市で 1 回出前講座を開催し、薬剤師 1 名が講師を務めた。

③令和 5 年度ポリファーマシー対策研修会

2 月 15 日に富山県厚生企画課、富山県後期高齢者医療広域連合、協会けんぽ、本会、射水市が今年度のポリファーマシー対策の取組みについて報告し、意見交換を行った。

- ・妊産婦服薬支援事業

昨年度、日本薬剤師会委託事業で実施した、妊産婦及び妊娠を希望されている方々への服薬指導等に必要な知識及び技能を習得するための研修会の開催および研修認定制度を継続するために、研修会を開催し、受講者を認定した。

①専門性の高い薬剤師養成のための研修会開催

1月19日 「妊産婦服薬支援のための薬剤師サポート機能強化事業」研修会
参加者 168名

②研修認定制度構築のための取り組み

研修認定ステッカー・バッジの配布(新規のみ、6薬局、薬剤師10名)

- ・薬薬連携推進等に関する事業(県補助事業 補助金:500千円(補助率1/2))

①薬剤レビュー実施体制構築のための研修会

薬剤レビュー実施のための服薬情報提供書(トレーシングレポート、TR)を用いた患者情報連携スキルアップ研修会や薬剤レビューの対象となる疾病や薬剤についての情報共有のための研修会を開催した。

- 4月7日 令和5年度第1回砺波医療圏薬薬連携推進研修会(23名参加)
- 4月26日 魚津市薬薬連携の会オンラインセミナー(34名参加)
- 7月28日 令和5年度第2回砺波医療圏薬薬連携推進研修会(21名参加)
- 7月26日 魚津市薬薬連携の会オンラインセミナー(32名参加)
- 8月18日 第19回 高岡医療圏薬薬連携推進研修会(32名参加)
- 10月13日 令和5年度第3回砺波医療圏薬薬連携推進研修会(52名参加)
- 1月25日 第20回 高岡医療圏薬薬連携推進研修会(31名参加)
- 1月25日 砺波医療圏薬剤師が地域で活躍するための研修会(36名)
- 1月25日 下新川薬薬連携会議(12名参加)
- 1月31日 糖尿病重症化予防と患者情報の共有について研修会(28名参加)
- 2月1日 薬剤師が地域で活躍するための研修会～乳がん～(134名参加)
- 2月2日 新川医療圏薬薬連携セミナー(22名参加)
- 2月7日 魚津市薬薬連携セミナー(19名参加)
- 2月13日 砺波医療圏薬剤師が地域で活躍するための研修会 part2(60名参加)
- 3月21日 第1回黒部市民病院薬薬連携研修会(24名参加)

2月15日に薬剤レビュー実施のための薬薬連携推進全体会議を開催し、事業報告と今後の課題を検討した(病院薬剤師21名、薬局薬剤師25名、行政6名参加)。

②「がん薬物療法を受けている患者を支えるための関係職種と連携した研修会の開催」

昨年度に引き続き、富山県病院薬剤師会と合同で、研修会を開催し、がん患者の薬物療法や連携に関する研修を行った。

10月19日 第9回がん患者のための連携研修会

第一部 講演、第二部 パネルディスカッション

(薬剤師151名、薬学生1名、その他2名、計154名)

2) 新型インフルエンザ等対策事業

- ・富山県感染症対策連携協議会(富山県主催)が3回開催された(7月24日、10月23日、3月8日(書面開催))。

3) 研修会事業

- ・高度管理医療機器販売業等営業管理者継続研修会を開催した。

12月21日～1月9日 Web講習会(181名)

3月3日 富山県薬剤師会会館研修室(13名)

- ・会営富山中央薬局の無菌調剤室を使用して、無菌製剤実習を実施した（11回、15名）。
- ・健康サポート薬局の届出に係る技能習得型研修会を開催した。
 - 7月23日 研修会A（健康サポートのための多職種連携研修）（38名）
 - 7月23日 研修会B（健康サポートのための薬剤師の対応研修）（10名）
- ・薬剤師認知症対応力向上研修会を開催した。
 - 薬剤師認知症対応力向上研修事業（県委託事業 委託料：400千円）
 - 10月15日 富山県薬剤師会会館（26名）

3. 薬事衛生の普及・啓発に関する事業

①「薬と健康の週間」事業の実施

10月22日の北日本新聞朝刊にかかりつけ薬局の推進、お薬手帳の普及に関する広告を掲載し、県民への啓発を行った。

「お薬・健康フェスタ2023」を10月22日にグランドプラザで開催した。

写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。

ステージイベント・模擬薬局・測定コーナー・相談コーナー・体験コーナー等を設置した。

（一般来場者600名、薬剤師170名、事務局5名、研究センター10名、県栄養士会5名、県歯科衛生士会4名、音響担当1名、司会者1名）

②「薬事情報センター」における薬に関する相談の応需

薬事情報センターに一般県民等から128件の相談があった。

③インシデント事例収集

2月の1カ月間をインシデント事例収集強化月間として、会員薬局から報告のあった調剤事故・インシデント事例を集計・解析した。

4. 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業

1) 医薬品の供給・備蓄事業

- ・会営富山中央薬局では、調剤用医薬品を延べ41回分譲した。

2) 在宅医療推進事業

- ・会営富山中央薬局の無菌調剤室の共同利用等

会営富山中央薬局の無菌調剤室の共同利用の利用実績は、3薬局延べ17回であった。

会営富山中央薬局の無菌調剤室を使用して、無菌製剤実習を実施した（11回、15名）（再掲）。

- ・在宅医療推進訪問薬局支援事業（県補助事業 補助金：500千円（補助率1/2））

在宅医療・終末期医療・多職種連携等に関する研修会

6月14日 「高岡医療圏令和5年度在宅医療推進訪問薬局支援事業研修会～PCAポンプの基礎を学ぶ～いざ、処方を受けることになったら・・・～」(高岡・薬剤師22名、薬学生1名)

7月6日 令和5年度第1回砺波医療圏在宅推進研修会「薬剤師による在宅医療の基礎知識と緩和薬物療法への介入・砺波医療圏内病院における終末期緩和ケア状況」(砺波・薬剤師23名、看護師1名、ケアマネ19名)

11月2日 「富山地区在宅入門研修会～実際に報告書を作成してみましよう～」(富山・薬剤師37名、薬学生1名、ケアマネ1名)

11月16日 令和5年度第2回砺波医療圏在宅推進研修会「ケアマネジャーの仕事について・グループワーク：ケアマネジャーと薬剤師の連携について」（砺波・薬剤師20名、ケアマネ6名）

11月29日 令和5年度 がん患者の在宅療養支援事例検討会「高齢がん患者と家族の気持ちに寄り添った在宅療養支援を振り返る」（新川・薬剤師11名、病院薬剤師1名）

12月14日 第4回射水市薬剤師会、ケアマネジャー合同研修会「在宅医療におけるケアマネジャーと薬局薬剤師の相互理解を目指して」（射水・薬剤師18名、ケアマネ13名、社会福祉士1名、看護師1名）

12月21日 ケアマネジャー・薬剤師の相互理解と連携強化のための研修会（新川・薬剤師12名、病院薬剤師1名、ケアマネ19名、保健師1名）

12月27日 富山市区「医療材料・褥瘡ケア在宅研修会～褥瘡の管理～」（富山・薬剤師30名、訪問看護師10名）

在宅医療推進のために、医療機関等への情報提供として、在宅医療可能薬局リストを新たに作成し、対象薬局をマップ上で表示し、本会ホームページで公表した。

3) 自殺防止対策事業

かかりつけ薬局自殺対策推進事業（県委託事業 委託料：300千円）

11月9日、研修会「ゲートキーパー養成講座」「働く世代の睡眠について」を開催した（179名）。

2月14日啓発用ポスター、リーフレットを会員薬局に送付した。

4) 薬剤師の職能PR事業

「薬と健康の週間」事業の実施（再掲）

薬剤業務体験学習事業（再掲）

3月9日富山県主催「未来の薬剤師発掘セミナー」で、県内の中学生、高校生、保護者を対象に講演した。

5) 地域住民の利便性に関する事業

19の公的病院にFAXコーナーを設置し、患者の希望する薬局に処方せんをFAX送信することで、待ち時間の短縮を図っている。

6) 薬剤イベントモニタリング（DEM）事業に対する協力

日本薬剤師会が2月1日～2月29日に実施したDEM事業に協力した。

5. 災害時等の医薬品の確保・供給、衛生の確保に関する事業

・富山県総合防災訓練への参加

8月27日高岡テクノドームで富山県総合防災訓練があり、薬剤師8名が参加し、臨時調剤所の開設、服薬指導、不足医薬品の搬送依頼等の訓練を行った。

・原子力防災訓練への参加

11月23日に開催された原子力防災訓練において、氷見市内3か所で、避難住民への自家用車ドライブスルー方式およびの体育館内での安定ヨウ素剤配布訓練に薬剤師8名が参加した。

・令和6年度能登半島地震への薬剤師支援事業

1月1日に発生した能登半島地震の支援として、穴水地区(1月8～19日)に25名(延べ27

名)、額谷避難所(金沢市・1月20日～3月31日)に39名(延べ77名)、JMAT(富山県医師会・1月13日～2月21日)13名(延べ14名)の薬剤師を派遣した。

6. その他

- ・富山県体育協会からの講師派遣依頼を受け、7/9富山県卓球協会、7/24富山県フットボール協会、9/2富山県ローイング協会(ボート協会)、9/3富山県セーリング連盟、11/18富山県カヌー協会でのアンチ・ドーピング講習会にスポーツファーマシスト・アンチドーピング対策検討WGから講師各1名を派遣した。

II 公衆衛生の普及・指導に関する事業(富山県医薬品総合研究センター、収益事業)

1. 環境衛生検査事業

- ・水道水、飲用井戸の水質検査件数 5,890件
- ・浴槽水の検査件数 412件
- ・学校の環境衛生検査件数 771件
- ・簡易専用水道の法定検査件数 903件

2. 医薬品検査事業

- ・製薬用水、医薬品の検査件数 2,339件
- ・医薬品の計画的試験 25件

III 会員の相互扶助等事業

1. 表彰事業

- ・第91回通常総会で、第65回富山県薬剤師会賞受賞者1名、富山県薬剤師会感謝状贈呈者6名に対し、表彰を行った。
- ・12月9日、令和5年叙勲受章者、表彰受賞者の祝賀会を開催した。

2. 無料職業紹介事業

2件の求人があった。

IV 共益事業

1. 薬剤師賠償責任保険等の加入促進
2. 学術出版物などの斡旋